

2. 火山の概況

(平成 18 年 1 月 20 日 ～ 平成 18 年 1 月 26 日)

【噴火が観測された火山】

- ▲ 桜島 [比較的静穏な噴火活動 (レベル 2)] : 26 日に爆発的噴火が 1 回観測された。
- ▲ 諏訪之瀬島 [活発な状況 (レベル 3)] : 25 日に噴火が観測された。

【活動が活発もしくはやや活発な状態である火山】

- 十勝岳 [やや活発な状況] : 噴煙活動が活発で、62-2 火口の高温状態が続いていると推定される。
- 樽前山 [やや活発な状況] : A 火口及び B 噴気孔群の高温状態が続いていると推定される。
- 浅間山 [やや活発な状況 (レベル 2)] : 噴煙活動のやや活発な状態が続いている。火山性地震がやや多く発生した。
- 三宅島 [やや活発な状況] : 多量の火山ガスの放出が続いている。
- 霧島山 (御鉢) [やや活発な状況 (レベル 2)] : 火口縁を超える噴気が時折観測されており、火山活動はやや活発な状態が続いている。
- 薩摩硫黄島 [やや活発な状況 (レベル 2)] : 噴煙活動のやや活発な状態が続いている。
- 口永良部島 [やや活発な状況 (レベル 2)] : 火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

【静穏な状態であるが観測データに変化のあった火山】

- ◇ 伊豆東部火山群 [静穏な状況] : 26 日に伊豆半島東方沖の川奈崎付近で地震がやや増加した。
- ◇ 霧島山 (新燃岳) [静穏な状況 (レベル 1)] : 22 日をピークに火山性地震が増加した。

【その他の記事を掲載した火山】

- ◇ 阿蘇山 [やや活発な状況 (レベル 2) → 静穏な状況 (レベル 1)] : 噴火の可能性が低くなったため、20 日にレベルを 1 (静穏な火山活動) に引き下げた。(前号でも速報として掲載)



図 1 今期間掲載した各火山の活動状況

注 1 本資料において、レベルは火山活動度レベルを示す。

注 2 記号の意味

- ▲ : 噴火が観測された火山
- : 活動が活発もしくはやや活発な状態である火山
- ◇ : 静穏な状態であるが観測データに変化のあった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字 : 火山活動度レベル

注 3 記事は、▲、● (注 2 参照) に該当する火山について掲載する。その他の火山については、特記事項のある場合に掲載する。

【各火山の活動解説】

各記号の意味は次のとおり。▲：噴火が観測された火山。●：活動が活発もしくはやや活発な状態である火山。◇：静穏な状態であるが観測データ等に変化があった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山。

● 十勝岳 【やや活発な状況】

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上概ね 200m で推移した。噴煙活動に特に変化はみられていないことから、同火口の熱的な活動にも大きな変化はなく、高温の状態が続いていると推定される。

● 樽前山 【やや活発な状況】

今期間、A 火口及び B 噴気孔群の噴煙の状況に特に変化はみられていないことから、これらの火口の熱的な活動にも大きな変化はなく、依然として高温の状態が続いていると推定される。

● 浅間山 【やや活発な状況（レベル2）】

山頂火口からは白色噴煙が連続して噴出しており、噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移した。期間中、火映は観測されなかった。

火山性地震は 1 日あたり 24～74 回とやや多い状態が続いている。火山性微動は 22 日に 1 回されたのみで少ない状態であった。

◇ 伊豆東部火山群 【静穏な状況】

25 日 20 時頃から伊豆半島東方沖の川奈崎付近、深さ約 10km を震源とする微小な地震がやや増加した。最大地震は 26 日 12 時 46 分に発生した M（マグニチュード）1.1（暫定）で、この地震を含め震度 1 以上を観測した地震はなかった。地震の増加に前後して、東伊豆町に設置している体積歪計^{ひずみ}に縮みの変化がみられ、伊東市に設置されている防災科学技術研究所の傾斜計にも変化がみられた。火山性微動及び低周波地震は観測されなかった。この付近では過去にもしばしば地震活動が活発化しているが、今回の活動は規模の小さなものであった。

● 三宅島 【やや活発な状況】

山頂火口からは白色噴煙がほぼ連続して噴出しており、噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移した。

20 日に上空から行った観測¹⁾では、火口内の最高温度は約 130℃（赤外熱映像装置²⁾による）と依然として高温状態が続いている（前回 12 月 15 日約 110℃）。

24 日に行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は 1 日あたり 2,300～3,300 トンと依然として多量の火山ガスの放出が続いている（前回 17 日 1,600～2,600 トン）。

火山性地震は少ない状態が続いており、火山性微動は観測されなかった。

1) 東京消防庁の協力による。

2) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

◇ 阿蘇山 【やや活発な状況（レベル2）→静穏な状況（レベル1）】

中岳第一火口の熱活動は低調な状態が続き、火山性連続微動の振幅も小さい状態が続いていることから、噴火の可能性は低く、火山活動は静穏な状態になったと判断し、20 日にレベルを 2（やや活発な火山活動）から 1（静穏な火山活動）に引き下げた（前号でも速報として掲載。詳細は前号参照）。

◇ 霧島山（新燃岳） 【静穏な状況（レベル1）】

20 日から新燃岳付近を震源とする火山性地震が増加し、22 日には日回数が 49 回となった。また、25 日には火山性微動が 1 回観測されたが、振幅の小さな継続時間の短いものであった。地震はその後減少傾向にある。26 日に行った調査観測では、噴気活動等に特段の変化はなかった。期間中、火口縁を超える噴気は観測されず、地殻変動にも特段の変化はなかった。新燃岳付近で顕著な地震の増加が

みられたのは 2000 年 7 月以来である。

● 霧島山（御鉢） 【やや活発な状況（レベル 2）】

御鉢火口では火口縁を超える噴気が時折観測されるなど、火山活動はやや活発な状態が続いている。20 日、23 日及び 25 日に火口縁上 100m の高さの噴気が観測された。

火山性微動が 21 日及び 26 日にそれぞれ 1 回観測されたが、いずれも振幅の小さな継続時間の短いものであった。

▲ 桜島 【比較的静穏な噴火活動（レベル 2）】

26 日に爆発的噴火が 1 回観測された（前期間は、噴火は観測されなかった）。爆発的噴火は 06 時 51 分に発生し、灰白色の噴煙が火口縁上 400m まで上がった。期間中、鹿児島地方気象台（南岳の西南西約 11km）で降灰は観測されなかった。

また、24～26 日に B 型地震³⁾が増加し、特に 26 日は日回数が 100 回を超え、やや多い状態であった。火山性微動は観測されなかった。地殻変動には特段の変化はなかった。

3) 火山性地震には、通常の構造性地震と同じような P 波、S 波が明瞭で高周波の波動からなる A 型地震と、位相が不明瞭な低周波の B 型地震がある。桜島の A 型地震はマグマ等の貫入に伴い地殻が破壊されるために発生していると考えられ、B 型地震はマグマ内の火山ガスの発泡等によって火道内で発生する地震とされている。

● 薩摩硫黄島 【やや活発な状況（レベル 2）】

噴煙活動は依然としてやや活発で、白色噴煙が硫黄岳火口から連続的に噴出しており、噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移した。火山性地震及び火山性微動は少ない状態で経過した。

● 口永良部島 【やや活発な状況（レベル 2）】

火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている（今期間 52 回、前期間 38 回）。火山性微動は少ない状態が続いている。期間中、監視カメラ（新岳の北西約 4 km に設置）による観測では噴気等は認められなかった。

▲ 諏訪之瀬島 【活発な状況（レベル 3）】

25 日に噴火が観測された。爆発的噴火はなかった。

25 日 07 時 45 分頃から同日の日没まで、監視カメラ（御岳の北北東約 25km の中之島に設置）で灰白色の噴煙が観測された。噴煙の最高は火口縁上 500m であった。

火山性微動が 24 日 19 時頃～26 日 16 時頃に連続的に観測され、振幅のやや大きなものが観測された。

表 1 最近 1 か月に記事を掲載した火山及び各火山のレベル

概況番号	対象期間	十勝岳	樽前山	吾妻山		草津白根山		浅間山		伊豆東部火山群	伊豆大島		三宅島	福徳岡ノ場	九重山		阿蘇山		雲仙岳		霧島山(新燃岳)		霧島山(御鉢)		桜島		薩摩硫黄島		口永良部島		諏訪之瀬島	
				記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル		記号	レベル			記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル
4	1/20-1/26	●	●	①	①	●	②	◇	①	●	①	●	●	●	①	◇	②→①	①	◇	①	◇	①	●	②	▲	②	●	②	●	②	▲	③
3	1/13-1/19	●	●	①	①	●	②		①	●	●	●	●	●	①	◇	②	②	①	①	①	●	②	●	②	●	②	●	②	▲	③	
2	1/6-1/12	●	●	①	①	●	②		◇	①	●	●	●	●	①	●	②	②	①	①	①	●	②	●	②	●	②	●	②	▲	③	
1	12/30-1/5	●	●	①	①	●	②		◇	①	●	●	●	●	①	●	②	②	①	①	①	●	②	●	②	●	②	●	②	▲	③	
52	12/23-12/29	●	●	①	①	●	②			①	●	●	●	●	①	●	②	②	①	①	①	●	②	▲	②	●	②	●	②	●	③	

表 2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第 3 号	20 日 16:00	1 月 13 日～1 月 20 日 15 時の活動状況。16 日の火山ガス観測結果。レベルは 2。
三宅島	火山観測情報第 20～26 号 (1 日 1 回発表)	20 日～26 日 16:30	前日 16 時～当日 16 時の活動状況及び上空の風の予想。
阿蘇山	火山観測情報第 3 号	20 日 11:00	火山活動は静穏な状態になった。レベルを 2 から 1 に引き下げた。